

小論文（日本語）試験問題

[試験時間60分]

〈臨床検査学科〉

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、3枚です。
- 3 解答用紙は、3枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

令和3年度 学校推薦型選抜 小論文試験問題（臨床検査学科）

出題のポイント：科学的観察力，論理的思考力，地域への貢献性

香川県では、“健康長寿かがわの実現”を目標に、「健やか香川 21 ヘルスプラン（第2次）」に基づき、県民の健康づくりを推進しています。以下に示した図と表は計画の中間評価をするために役に立つ基礎資料になります。

問1

健康づくり計画が奏功すれば医療費の削減につながると思います。しかし、図1のように医療費は推移しています。医療費に関係する因子として死因別死亡率は大きく影響します。図2に死亡率上位の死因4種類を示しました。これらの結果から推測できることを、300字以内で述べてください。

問2

表1は香川県民の健康・栄養等に関する調査結果の一部です。また、表1の結果が反映されるデータとして図3のような資料も参考になります。香川県における医療費削減を達成するために、これらを分析し、今後とるべき対応についてあなたの考えを、500字以内で述べてください。

図1 医療費の推移

(“第2期香川県医療費適正化計画に関する実績評価”平成29年より抜粋して引用)

図2 死因別死亡率の推移

(“香川県保健統計年報平成29年版”より抜粋して引用)

表1 香川県民の栄養・食生活・身体活動・身体状況等に関する状況

(“平成28年香川県民健康・栄養調査結果の概要”から抜粋して引用)

図3 香川県糖尿病受療率の推移

(香川県健康福祉部“かがわ糖尿病予防ナビ”令和2年3月より抜粋して引用)

【解答例】

キーワード

・生活習慣病・死因・死亡率・医療費・栄養・食生活・バランスの良い食事・野菜摂取量・食塩摂取量・朝食・身体活動・運動・歩行数・肥満・糖尿病・受療率・抑制

問1

香川県における保健医療に関する調査資料から、医療費はこの10年間で増加傾向が明らかで、全国平均よりも高い。医療費の増加に影響する主要な死因別死亡率を確認すると、第1位は悪性新生物(がん)、第2位は心疾患で確実な増加傾向を認める。脳血管疾患はゆるやかに減少しているものの、主要3大死因は生活習慣病である。また、香川県では、これらの死亡率が常に全国平均を上回っている。第4位は生活習慣病に該当しない肺炎であり、肺炎はこの10年間に減少傾向で全国平均を下回った。全国的にも生活習慣病が増えているが、香川県ではそれ以上に生活習慣病が蔓延し、医療機関への受診が増え医療費が増加していることが示唆される。

(290文字)

問2

医療費削減を達成するためには、死亡率の高い生活習慣病の予防が大切である。生活習慣病は、その名称の通り日々の食生活や身体活動の積み重ねにより発症する。バランスの良い食事が大切であるが、野菜摂取量は増加しているものの目標量には達していない。食塩摂取量は減少して良好になった。うどんの嗜好により炭水化物の摂取は多いと思われるが、食塩摂取量を考えると極端に多いとは考えにくい。食事の摂り方では、朝食を抜く人が男性に多い。空腹状態で炭水化物主体の昼食を摂ると血糖値が急激に上昇し、インスリン抵抗性が起きることが指摘されている。うどんと共におにぎりなどを食べるなど、「炭水化物の重ね食べ」と「早食い」を指摘する声もある。身体活動では、適度な歩行が有効であるが、歩行数は男女ともに目標値に達せずさらに減少傾向にある。このような生活習慣の結果、男性では肥満の割合が高く、糖尿病の発症因子になり患者数が増加する。実際、糖尿病の受療率は全国平均よりも高くワースト10以内が続いている。したがって、若い頃からの生活習慣の改善が糖尿病などの予防につながり、生活習慣病の発症を抑えることが医療費の抑制にも重要である。

(494文字)

推薦入試 面接問題

(アドポリ)

1. 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
2. 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
3. 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
4. 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

問1. 志望動機、高校生活、知的好奇心、地域貢献、大学生活

(意欲や判断力、物事に対する取り組み方、努力、持続性などをみる)

(1) 学校推薦型選抜入試を志望した理由を聞かせてください。また、学校推薦型選抜入試を受験するために、高校時代に頑張ったと思うことについて述べてください。

評価のポイント：必ずしも流暢に説明できなくてもよいが、論理的思考力、自己表現能力や自己を客観的にみることができているかを評価する。その中に主体性や努力、責任感、協調性、知的好奇心、観察力、地域貢献、コミュニケーション能力等、積極的に評価できる点があれば評価する。

(2) 臨床検査技師は病院や健診センターなどの医療関連施設において、どのような貢献ができるか、いくつか例を挙げて説明して下さい。

評価のポイント：正確な検査データを提供することによる的確な診断や治療方針決定への貢献、健康診断などでの病気の予防や早期発見への貢献、さらには治療効果の評価や予後のモニタリング評価への貢献など、いろいろな回答例が考えられる。

科学的観察力、知的好奇心、地域貢献、コミュニケーション能力等、積極的に評価できる点があれば評価する。

(3) 大学生になったら、どんなことをしてみたいですか。

評価のポイント：目標設定や計画性、目標へ向かう主体性や協調性、努力、継続性等を評価する。

問 2. 午前中の小論文（日本語）問題の回答について

(1) 回答提出後に、書きそびれた、書いておくべきだったと思っていることはありますか。もしあるならば今お話しください

(2) あなたが一番述べたかったこと、主旨を簡単にお話しください
(その後は、受験生の回答により内容を展開する)

評価のポイント：好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人

問3. 新型コロナウイルス感染症について質問します。

(1) 新型コロナウイルス感染症とは、どのような病気でしょうか。説明して下さい。

評価のポイント：社会に関心に向け、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な知識を有し、知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力等、積極的に評価できる点があれば評価する。

(2) では、感染防止の点からはどのような事に注意を払うべきでしょうか。また、人々の行動や働き方にも変化をもたらしましたが、どのような変化をもたらしましたか。

評価のポイント：手洗いや消毒といった個人や集団で行動する場合で注意すべき点などをあげることができ、社会に関心に向け、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な知識を有し、知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力等、積極的に評価できる点があれば評価する。

(3) 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策は、一方で様々な問題を社会に引き起こしました。どのような問題が生じたか説明して下さい。

評価のポイント：新型コロナウイルス感染症が社会に引き起こした問題点をあげることができ、社会に関心に向け、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な知識を有し、社会に対する責任感や協調性があり、知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力等、積極的に評価できる点があれば評価する。